



本のひろば

December 2021 12

ISSN 0286-7001

一般財団法人キリスト教文書センター

1957年7月17日第三種郵便物認可

2021年12月1日発行(毎月一回発行)第768号

月刊「キリスト教書評誌」

● 出会い・本・人

子どもたちへの言葉の力強さ 笹森田鶴

● 特集 クリスマスを味わうなら

この三冊! 水野隆一

● 本・批評と紹介

並木浩一著 ヨブ記注解 及川 信

船戸良隆著 我が国籍は天に在り 小友 聡

長谷川修一著 遺跡が語る聖書の世界 山野貴彦

原田浩司著

〈スコットランド信仰告白〉による信仰入門 伊勢田奈緒

ソーニャ・M・スチュワート著/左近深恵子、西堀和子、

ブラウネルのぞみ訳 イエスさまについて行こう 小泉 健

関野和寛著 天国なんてどこにもないよ 伊藤 悟

加藤常昭著 加藤常昭説教全集37

旧約聖書・福音書の説教 鷹澤 匠

既刊案内

「本のひろば」バックナンバー表

書店案内



半世紀にわたる説教黙想探求の集大成!

み言葉打ち開くれば 光を放ち

加藤常昭 説教黙想集



加藤常昭 2021年11月25日刊行予定

東京神学大学、説教塾で長年日本の説教者を指導してきた著者が、『説教者のための聖書講解』『説教黙想アレティア』の両誌等に寄稿した珠玉の説教黙想65本。

◆A5判 上製・610頁・定価7,700円

新約聖書おもしろ クイズドリル



辻学 監修 2021年11月22日刊行予定

「パウロの長い話に眠くなり、3階から落ちてしまった人は？」など、○×、4択、穴埋めクイズといった300問以上のクイズを解きながら、新約聖書を楽しく学べる1冊。

◆A5判 並製・96頁・定価1,100円

好評発売中 『旧約聖書おもしろクイズドリル』
大島力 監修 定価1,100円

楽しく学べる！
新約聖書
おもしろクイズ
ドリル

監修：辻学

答えつき!

★パウロの長い話に眠くなり、3階から落ちてしまった人は？
★「目からうろこ」って、新約聖書に出てくる言葉なの？

いろいろなクイズを解きながら、
目指せ、聖書博士!!!

日本キリスト教団出版局

NHK「こころの時代」コヘレト特集番組、再放送放映中!

コヘレトの言葉を読もう



「生きよ」と呼びかける書

小友聡 番組にあわせてぜひお読みください!

黙想思想との関連性に着目し、「今の生を徹底して生きよ」というコヘレト書の新たな読み方を示す。

◆四六判 並製・136頁・定価1,540円

テレビ番組情報

第3日曜日 午前5時～
2022年3月まで

NHK Eテレ「こころの時代」
それでも生きる
旧約聖書「コヘレトの言葉」
出演：小友聡、若松英輔



子どもたちへの言葉の力強さ

笹森田鶴

小さい頃から絵本好きだったので、なぜかファンタジーは素通りしており、子育てで改めてこの分野と出会いました。これらの「行きて戻りし」物語のなんとすばらしく、奥深い世界観と大事なものを手放す勇氣と成長、信じる心や友情に溢れているのだろうと感激をしておりましたら、当時所属していたグループの講演会で、ピーター・ラビットの物語も実は大変な行きて戻りし冒険物語であることを教えてくださった方がいらっしました。ピーター・ラビットの日本出版時の編集者、『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』などの著者で児童文学者である斎藤惇夫さんでした。目からうろこでした。

2014年の日本聖公会総会で洗礼後の陪餐が可能となり、私は子どもの陪餐準備のテキストを作成する担当となりました。子どもたちに届ける言葉です。ピーターやガンバだから子どもたちが大人になっても心を揺さぶられるのです。そのどちらでもない私は途方に暮れ、ある方に、同じ教派で編集をされてい

るといだけのつながりで、初対面にも関わらず相談に行きました。するとご協力をいただけるかも知れないすばらしい方をご紹介してくださいというのです。それが斎藤惇夫さんでした。どんなに心躍り最初の会合で浮き足立ったことでしょう。その会合の直後に斎藤惇夫さんが作成してくださった文書が『おいで子どもたち』（2016年、日本聖公会）となっていきました。初めて陪餐する子どもたちへのメッセージには、子どもたちへの愛、さらにずっと待ち焦がれていた子どもたちとの陪餐の喜びと感激、またこれから子どもたちが人生の中で困難に遭遇することがあっても、その体と血を与えてくださったキリストが決して一人にはしなないという信仰が溢れていました。大人たちへも力強くそのまま心の真ん中に届く言葉は、自分は神さまに愛される大事な存在だったことを思い出させます。

今でもこの宝物の本を何度も読み返しています。
（ささもり・たづ || 日本聖公会東京教区司祭）



クリスマスを楽しむなら

▼この三冊！

水野隆一

(みずの・りゅういち・関西学院大学神学部教授)

クリスマス。冬至に近く昼の時間が

一番短い「闇」の時期にもかかわらず、この祝祭によって、明るく、あたたかいものとして、私の心に感じられる。そこにはこれまで過ごしてきたクリスマスの、心に残る経験が影響している。

それだけに、今年、二〇二一年のクリスマスはどのように祝い、過ごすべきか。「いつものように」を超えて、いつも意義深く祝うにはどうすればよいのか。アドヴェント、クリスマスの祝い方を省みる際に助けとなる書物をこ

紹介したいと思う。

聖書はイエスの誕生について何を語っているのか。授業でも常々、「聖書についてのお話し——絵本や物語

——で、聖書のことを分かっているつもりになつてはいけない。聖書そのものを丁寧に読むと、それまで思っていたことと違うことを発見する」と言っているが、クリスマスの意義を考えるためには、聖書を読み直すことが不可欠である。そのための書物としてJ・D・クロッサンとM・J・ボーグの共

著『最初のクリスマス 福音書が語るイエス誕生物語』(浅野淳博訳、教文館)を挙げたい。

マタイによる福音書やルカによる福音書に記されている不思議な出来事が「事実」でなかったことは、もはや、驚きではないだろう。しかし著者たちは、「だから聖書は『間違っている』』というのは短絡だとする。聖書が何を語ろうとしているのかを、「譬え」として読むべきで、そのためには、テキストを精密に読み直すべきだと言う。そして、紀元後一世紀のローマ帝国という歴史的背景の中で、とくに「ローマ帝国神学」とも呼べる思想に対抗して福音書物語が書かれていると論じる。「神の子」「救い主」などは初代皇帝アウグストゥスに献げられた敬称で、その誕生も「神的」なものと考えられていたこと、そしてそのような「神学」の背後には、アウグストゥスの軍事的

勝利（著者たちによれば「暴力」）による「平和」があったことが挙げられる。イエス誕生の物語は同じような語彙を意識的に用いて、皇帝崇拜の神学に抵抗を示していると、著者たちは読み解く。「平和」は暴力によつてではなく、正義によつてもたらされるべきであり、それを実現するのが、イエス・キリストなのだとする。著者たちは、ローマ帝国神学の文献から根拠となる引用をするが、同時に、イエスに関する記述がヘブライ語聖書（旧約聖書）の伝統に基づいていることにも紙幅を割いている。そして、最後には、クリスマスとアドヴェント（待降節）をどのように過ごすべきかという勧めの章（第九章 世に満ちる喜び）を置いて、この書のもう一つの目的を果たしている。

これは、聖書の物語に対する「イデオロギー批評」であると言えるだろう。

私の方法とは異なるが、「政治的」な主題に関心を持たずにイエス誕生の物語を読むならば、「半分を見過ごすことになるのです」という指摘（二四七〜二七八頁）には心から賛同する。私たちは生活と政治が密接に関わっていることを知っており、私の「平安」は世界の「平和」と繋がっているからである。

キリスト教がその歴史を通じて、アドヴェント、クリスマスをどのように考え、どのように過ごすべきだとしてきたかを知ることができるものとして、『毎日の読書「教会の祈り」読書第二朗読 第一巻 待降節・降誕節』（カトリック中央協議会）を挙げる。

全九巻からなるこのシリーズは、以前は「聖務日課」と呼ばれていた「教会の祈り」の中の「読書」（かつての朝課）で、第一朗読の聖書と共に読まれる教父や教会著作家、教会の文書か

ら選ばれた朗読箇所を集めたものである。第一巻には、エイレナイオスをはじめとして、エウセビオス、ヨハネス・クリュソストモス、アウグスティヌス等の著作から、また、第二バチカン公会議の文書からも選ばれた朗読が収められていて、直に、著者たちの声に触れることができる。

私は、毎年、アドヴェントを迎える
と「聖ベルナルド修道院長の説教」（待降節第一水曜日、一六〜一八頁）を、
クリスマスには「聖レオ一世教皇の説教」（主の降誕（二月二五日）、七七〜七八頁）を読む。

ベルナルドは、来臨には三種のものがあ
り、第一の来臨——イエスの誕生と地上での生活、最後の来臨——「再臨」というよく知られているもの他に、この二つを結び、この二つの意義を信仰者たちに体得させるものとして、「中間の来臨」の重要性を説く。それは、

イエスが信仰者の「ところに来て、住む」ことであり（ヨハネ一四・二三）、これによって、信仰者がイエスの「生き写しとなる」のだとする（一コリント一五・四九）。

レオ一世は、その説教で、イエスが人間性をまとったことによって、人間は新しい被造物となり、「神の本性にあずかる者」となったと言う。その上で、キリストの誕生にあずかって、キリストと共に生きる者（エフェソ二・五）、バプテスマによって聖霊の住まいとされた者としてふさわしい生き方をするようにと勧める。

古代や中世の著作には独特のレトリックがあるので、読み慣れない内は何が言われているのか、正直よく分からないところもある。それでも、キリスト教の歴史においてどのように考えられてきたかを知ることが重要であるし、今日においても意義あることが語

られていると感じるものに出会うことができる。この二つの朗読に言われているような、キリストを心に宿しキリストと共に生きようとする信仰のあり方は、後のジョン・ウエスレーの思想にも受け継がれていると、メソジストの伝統にある（と自認する）者としては感じる。

クリスマスに歌われる歌についての書物として、川端純四郎著『さんびかものがたりII この聖き夜に アドヴェントとクリスマスの歌』（日本キリスト教団出版局）を挙げる。

著者は、新約聖書の研究者、ブルトマンの著作の翻訳者として知られ、J・S・バッハの音楽に造詣が深く、平和を求める市民運動でも活発に活動しておられた。私は、日本基督教団讃美歌委員会でご一緒したことが心に残っている。このシリーズの執筆中に、「今は一次資料にインターネットでアクセ

スできる」と、うれしそうにお話ししておられたことを思い出す。現代の利器も利用して、著者は、『讃美歌21』に収められている歌が、どのような状況で、どのような契機で作られたのかを明らかにしていく。

新型コロナウイルスによって不安や断を経験し、また、罹患された人とその家族には身体的・精神的苦痛が与えられたこの二年間を思うと、フィリップ・ニコライの二つの歌「『起きよ』と呼ぶ声」（二三〇番）「あかつきの空の美しい星よ」（二七六番）の解説が心に迫ってくる。これらはニコライが牧師を務めていたペンナの町がペストに襲われ、ニコライが毎日数十人の埋葬を執り行う中で生まれたとされる。ペストが去った後の一五五九年出版された『永遠の命の喜びの鑑』にこの二曲は収められている。

著者の解説によれば、厳格なルター



『最初のクリスマス』
福音書が語るイエス誕生物語
J. D. クロツサン、M. J. ボーグ：著
浅野淳博：訳
教文館
2009年
四六判 318頁
2,640円

派の牧師であるニコライがこれらの歌を生み出したのには、カンタペリーのアンセルムスや、上述のベルナルドの著作に触れていた影響があると考えられる。神秘主義的な神やキリストとの「合一」、「結婚」のメタファーが用いられているのも、納得できる。
圧巻は、「きよしこの夜」(二六四番)の解説であろう。一般に流布している



『毎日の読書「教会の祈り」読書第二朗読』
第一巻
待降節・降誕節
日本カトリック典礼委員会：編・監修
カトリック中央協議会
1989年
B6判 184頁
1,320円

説を検証し、一八一八年の初演のさらに二年前、一八一六年に作詞されたと明らかにした上で、六節あった原詞の内、日本では歌われていない節の訳を載せる。その背景に戦争の終結があったこと、それゆえに、「きよしこの夜」は「平和の賛歌」、ヘブライ語聖書の父祖たちの時代に約束された平和が実現したのがクリスマスであると歌う、



『さんびかものがたりII この聖き夜に』
アドヴェントとクリスマスの歌
川端純四郎：著
日本キリスト教団出版局
2009年
四六判 258頁
2,640円

「政治的」な歌であったことを説得的に示している。
「地に平和」はクリスマスの重要なテーマである。クリスマスに聖書を読み教会の伝統を受け継ぎ賛美歌を歌う私たちは、キリストと共に生きる者として今年のクリスマスにどのような「平和」を求めめるのか。これらの書物を読んで改めて思い巡らせたいと思う。

「自由」への招き

〈評者〉及川 信



ヨブ記注解
並木浩一著



長いこと待ち望まれて来た著者による『ヨブ記注解』が、遂に出版されたことを感謝したい。

著者は「まえがき」でこう述べている。

「ヨブ記は思想的にも文学的にも独特な魅力に満ちている。……ヨブ記は世界と人間の根本問題と格闘して叫びたい人間を熱中させる作品である。神もヨブも、世界と人間の根本問題に決して妥協しない」（三頁）。

ある程度聖書に親しんでいる者であれば、誰だってヨブ記は知っているだろう。しかし、私たちがヨブ記について「知っている」ことは、本当なのか。

この注解を読んでいると、ヨブの人となり、考え方、感じ方などがこちらに迫ってくる。エリファズをはじめとした三人の友人たちとエリフが何を感じ、何を言っているのか、そして、神様が何故あのように語ったのかが分かるよ

うに感じる。実に面白いし刺激的だ。

ヨブ記の難解な詩文から内容を汲み取り、翻訳（解釈）することは至難の業であるに違いない。いわゆる逐語訳では、言葉に込められている「思想」は伝えられない。著者の解釈の一つ一つは、辞書的な意味を解説した「注解」的でありつつ、信仰的な解釈が込められた「講解」的でもある（あとがき参照）。参考文献の中に、「文学・文芸学・思想」に関する文献が多く入っていることから分かるように、著者はヨブ記を紀元前に記された古代の文書として読みつつ、現代に生きている我々への問いかけとしても読んでいる。これがヨブ記との対話を深める上で非常に有益であることは言うまでもない。時折「ノート」が入っており、サタンとかミシュパート（公義）といった重要語句を解説してくれるのも有り難い。



三浦綾子 祈りのことば
 おちあいまちこ 写真
 三浦綾子の祈りのことば31編を精選、
 写真家・おちあいまちこの作品を配
 したコラボ作。三浦綾子の神様への
 感謝の祈りと美しい写真とが響き合
 う。2022年4月の生誕百年記念。
 A5判変型・80頁・定価1320円

三浦綾子の祈りのことば31編を精選、
 写真家・おちあいまちこの作品を配
 したコラボ作。三浦綾子の神様への
 感謝の祈りと美しい写真とが響き合
 う。2022年4月の生誕百年記念。
 A5判変型・80頁・定価1320円

ナウエンの名著セレクション



第3回
 記本

ナウエン・死を友として生きる
 ナウエン 廣戸直江ほか訳 中村佐知 監訳
 ナウエンが語る「死ぬことを生きること
 と同じくらい自分のものにする」とは。
 聖書の視点で死とケアを考える『最大の
 贈り物』と、交通事故の経験を踏まえて死
 の意味を思い巡らす『鏡の向こう』の二作
 を収録。 四六判・192頁・定価2420円

ナウエン・
 セレクション
死を友として生きる
 ナウエン 廣戸直江ほか訳 中村佐知 監訳

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 ☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457
 E-mail eigyou@bp.uccj.or.jp (価格10%税込)

<https://bp-uccj.jp>

ヨブ記と聞けば、誰しも「苦難」を思い浮かべるだろう。ヨブに与えられた問題は「理由が分からない」という苦しみである。この苦難は何のために与えられているのか。神様は間違っているのか、全能ではないのか、無能ではないのか。真剣に生きていれば考えざるを得ない。この問題について、著者は「自由」の観点からこう述べる。

「神がヨブにご自身の行為について弁解をする時には、ご自身の自由を失う。『苦難に理由あり』と知ったヨブもまた、神を『理由なしに』『信ずる』自由を失うであろう。神に抗議する自由もヨブには確保されないであろう。イエスもまた、十字架につけられるという理由を知らされないまま、『御心ならば』と祈りを経て、神に服従した。ヨブは当然のことながら、神の御子が神から見放されたという

究極の不条理を知らずに、神の扱いの不条理を嘆いたのである」(三三五頁)。そして、本書は以下の言葉で終わる。「東の予ら」(一・三)をユーラシア大陸の東の外れにまで拡張して読むとしても、それは読者の自由である」(四五五頁)。この「自由」を行使できなければ、ヨブ記は我々への問いかけにはなり得ない。

繰り返そう。ヨブ記は「世界と人間の根本問題に決して妥協しない」(三頁)。この書と対話しつつ、神や人間を問い、思索を深めることは、聖書を読むうえで極めて有益だと思う。本書を助けとして、多くの方々にヨブ記と取り組んでほしいと願っている。

(おいかわ・しん 日本キリスト教団山梨教会牧師)
 (A5判・四八二頁・定価六六〇〇円・日本キリスト教団出版局)

胸を打つ伝道者の志

〔評者〕 小友 聡

船戸良隆



我が国籍は天に在り
志の信仰に生きる

1997年10月15日発行

我が国籍は天に在り

志の信仰に生きる

船戸良隆著



本書は船戸良隆先生が伝道者として半世紀を生きた、その足跡と証しが記された説教集です。本書には1965年に神学大学を卒業し、伝道師となった直後の先生の説教のみならず、その56年後、2021年3月に東神大卒業礼拝で語られた説教も含まれます。わかりやすい言葉で、聴衆に向かつて、とりわけ巢立っていく神学生たちに向け、渾身の力を込めて船戸先生は語りかけています。ちなみに、船戸先生は昨年も東神大卒業礼拝に招かれました。コロナ禍のため、やむなく礼拝は中止になりましたが、先生が用意された説教も本書には収められています。

船戸先生は、伝道者としてひたすら志の信仰に生きた人です。神学校在学中に、筑豊の炭鉱町で伝道活動をし、卒業後に伝道師となり、1960年代後半から東南アジアの教会と日本の教会の架け橋となって伝道に専心しました。

ベトナム、タイに派遣され、米国留学をささみ、1980年に帰国。以後、JOC S（日本キリスト教海外医療協力会）、ACEF（アジアキリスト教教育基金）の代表となりました。85歳になる現在も、勝沼教会牧師として伝道の務めを果たしています。昨年10月には、2020年度キリスト教功労者として顕彰を受けられました。船戸先生は桑田秀延先生、そして隅谷三喜男先生を人生の師と仰ぎ、一伝道者として少しもぶれることなく、ただひたすら伝道してきた気骨の牧師です。『我が国籍は天に在り』は先生の信仰告白です。

前置きが長くなりました。本書の内容紹介をします。第一部「我が歩みし道」は自身の歩みが証しとして語られる5つの説教です。第二部「十字架を高く掲げて」は先生がこれまで語り続けてきたキリストの福音の言葉が熱く説か

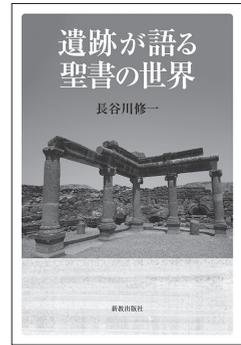
物質文化を通して 人間存在の根源にまで及ぶ視線

〈評者〉 山野貴彦

聖書考古学という学術分野は、踏査や発掘調査、遺物分析を通して聖書に見られる歴史的記述にアプローチし、聖書世界の物質文化を今に知らせる貴重な役割を担う。海外においても聖書考古学関連の学術書・研究論文は多く見られる。

その聖書考古学の第一人者として国内外で知られるのが本書の著者長谷川修一氏である。『遺跡が語る聖書の世界』という興味深いタイトルの本書は、かつて氏が『福音と世界』（新教出版社）二〇一九年一月号から二〇二〇年十二月号まで全二十四回にわたって連載した主題を一冊にまとめたもので、単行本化にあたり連載時の文章に加筆が施され、気持ちをあらたに読むことができる書物となっている。

扱われている主題は、「住まい」、「ワイン」、「ビール」、「ファッション」、「パン」、「オリーブ」、「碑文」、「紀年法



遺跡が語る聖書の世界

長谷川修一著



と貨幣」、「エルサレム神殿」、「会堂」、「市壁」、「市門」、「列柱付き建造物」、「印章」、「契約」、「音楽」、「交易」、「葬送と墓制」、「戦争」というように、人間生活の様々な局面に関するものとなっている。そしてこれらの事物は言うまでもなく、聖書においてもきわめて重要な意味を有している。

ユダヤ教においてもキリスト教においても重要な飲食物である「ワイン」や「パン」は聖書時代にどのように作られ人々に供せられていたか。旧約・新約という言葉に現れる「契約」思想の内実とは何か、どのような考古史料が現存しているのか。イエスがしばしば訪れたと記される「住まい」や「会堂」とはどのような建物であったか等々、本書はそのような問いに対して物質文化の側面から多くの情報を提供してくれる。なお、「葬送と墓制」および「戦争」の章はそれぞれ三つずつ合計で六章と、本書全体の四分の

ヨベルの新刊案内



戦火の中で独り生き残り、燃えさしのマッチのように救われたのはなぜか？「ベツレヘムの星」と呼ばれた一枚のカードを基点に、戦災孤児の歩みとキリスト教との関わりが描かれ、戦後日本のキリスト教史が一個人の視点から語られた書！ 四六判・一七六頁・一四三〇円

原野百合

ベツレヘムの星II

山口衣子・J.E.C.A八郷キリスト教会牧師夫人△待望の続編！

一を占めている。これは日々の当たり前に思える生活の中にこそある人間存在の意義、人間の尊厳といった事柄に注意して諸々の著作に取り組んでいる著者の深い問題意識を明確に示していると言えよう。

内容的にはいずれの章においても、その主題に即した聖書本文、歴史的な背景、考古学的な知見、遺跡・遺構の解説などが専門家ならではの視点で記されている。また、著者が旅や研究で訪れた現地において経験された出来事や想いも豊かな表現力で示される。評者も研究のために聖書の舞台となった地を少しく旅したことがあるが、本書で言及されている著者の様々な人々との出会いの描写には思わず共感を覚えた。

本書は、聖書学と聖書考古学の知見を組み合わせて、旧約



星に導かれて、人生を旅したくなる！現代人からはるかに失われたものの価値を改めて想起させる7つのクリスマス小作品。日本人の正教会司祭とアイコン画家による、美しい光輝に包まれたもうひとつの聖誕物語。

及川信

クリスマス小晶集 みちびきの星

(京都正教会/長司祭) 刊行前から反響多々！

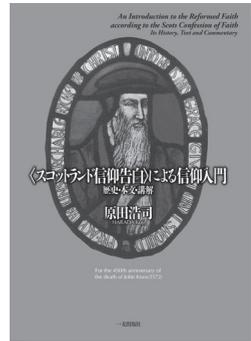
聖書の中で古代イスラエルの民が見ていた風景、新約聖書においてナザレのイエスや彼にかかわった人々が見ていた風景を私たちに垣間見せてくれる。COVID-19問題のため、残念ながら今しばらく海外への旅行は容易ではないと思われる。しかし、やがて再び聖書の舞台となった地域へ出かけることが可能になった際には、古代の聖書世界の物質文化を見事に紹介しているこの書物をカバンの中に入れて旅の相伴にすることを勧めたい。その旅に備え、しばし本書で予習をしておこう。遺跡が見せる風景は、聖書世界のイメージを何倍にも膨らませてくれる。本書はそのための最適な案内書である。

(やまの・たかひこ) 聖公会神学院専任教員
(四六判・二三〇頁・定価二三一〇円・新教出版社)

ヨベル YOBEL Inc. info@yobel.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1-5F
TEL03(3818)4851 FAX03(3818)4858
出版の手引き / 呈 (税込)

宗教改革の精神を 次世代につなぐために

〈評者〉 伊勢田奈緒



〈スコットランド信仰告白〉 による信仰入門

原田浩司著



この著書の帯には「宗教改革の精神を次世代につなぐために」とある。「次世代に」という言葉に16世紀に編まれた「スコットランド信仰告白」をいかに次世代に繋げるのかという思いに駆られ、読み始めた。かく言う私も著者と同じ頃、ジョン・ノックスに出会い、セント・アンドリュース大学大学院で学び、16世紀に起こった宗教改革運動に魅了されてきた者である。この書の構成は3章から成っている。第1章はスコットランド宗教改革小史、第2章はこの信仰告白の著者として、ノックスを中心に、六人のジョンについての小伝がある。読者はこの1、2章で、小国であるスコットランドにおける16世紀当時の背景を頭に描きながら、第3章へ導かれ、25章から成る信仰告白の本文と著者による巧みなポイント講話を理解していけよう。

まず、この書にはノックスやStジャイルズ教会など、人

物や建物などの豊富な絵画や写真があり、読者は21世紀の現代から16世紀に思いをはせることが出来る。第2章には、六人のジョンが取り上げられ、興味深いものである。特筆すべきは第3章で著者は常に21世紀の読者に向かい、この信仰告白について分かり易く語りかけるように説明をしている点である。たとえば、54頁で「原罪は神の像の破壊である」について、「それはちようど、毎日自分の顔を映し出していた手鏡をうっかり床に落として割ってしまったようなものだ。その手鏡はもはや何の役にも立たず、処分するほかない代物である」とか、第4条の「約束の啓示」の箇所では「神の約束は、信仰深い人たちによって絶えず継承されて、こうして21世紀の時代まで継承されてきた」。「信仰者はこの神の約束に訴えて、この神の約束に委ねつ

つ、神の約束を次世代へ、22世紀の時代へと受けついでいかなければならない」といった具合に常に著者は、21世紀の読者に直接、語りかけている。

こうして興味をもった読者は、スコットランド信仰告白が宗教改革議会上に提出されてどのように承認されたのか、その過程、たとえばカトリック側の反対や、どの点を作成者たちは熱く議論したのかなども知りたいと思うのではないかと思う。また、第22条「聖礼典の正しい執行については、ローマ教会のミニスター（仕え人）たちが、キリスト・イエスの仕え人ではないこと、聖礼典を彼らの発明品によって汚していること、パンとぶどう酒を神として崇拜していること、ぶどう酒が聖餐に用いられていないこと、司祭らがキリストとその教会の仲保者として生者と死者の罪

のために宥めの犠牲を献げていることなどを列挙している。なぜこれほどに強い否定をしたのか、せざるをえなかったのか、その点に関する著書の説明があれば、この条文の意図をさらに深く理解できるのではないかと思った。

本書は21世紀の読者に物語るように16世紀のスコットランド信仰告白を説き明かした書である。「あとがき」で著者が述べているように、「今、改めて」この信仰告白が「神が改革者たちに注がれた聖霊の息吹を汲み取り、教会の改革と形成にはげむものでありたい」という意見に同感である。

（いせだ・なお〓東洋英和女学院学院宗教部長
A5判・一三四頁・定価一七六〇円・一麦出版社）



三訂版

ウェストミンスター 信仰規準

松谷好明*訳
MATSUTANI Yoshiaki



ウェストミンスター信仰告白が、ラームスの〈二分法〉によって構成されていることを鮮やかに浮かび上がらせる！最新のクリティカル・テキストを用い、新機軸を打ち出した決定版。

四六判

定価 2,420 [本体 2,200 + 税] 円
ISBN978-4-86325-135-9



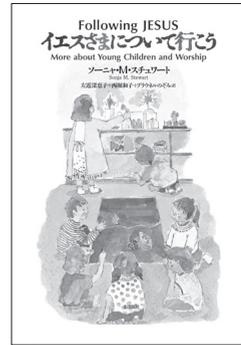
株式会社 一麦出版社

札幌市南区北ノ沢3丁目4-10
TEL (011) 578-5888

<https://www.ichibaku.co.jp>
携帯 mobile.ichibaku.co.jp

出来事の中へと 子どもたちを招く

〈評者〉 小泉 健



イエスさまについて行こう

ソーニヤ・M・スチュワート著
左近深恵子、西堀和子、ブラウ
ネルのぞみ訳



礼拝や説教をとらえる際に、近年の実践神学ではよく「演出」という概念が用いられます。「演出」と言っても、ドラマチックにするために飾り立てることではありません。例えば礼拝の場合、その中心にあるのは、神と神の民との出会いです。この出来事を、神の御前での出来事にふさわしいように整えます。順序を考え、礼拝者のふるまい方、言葉遣いを正します。適切な音楽を生み出し、使用します。その全体を「演出」と呼んでいるわけです。

説教の出来事についても、「演出」の概念を用います。聖書というテキストは揺るぎないものです。一言一句おろそかにできないし、変えられません。その聖なる書物が、しかし今ここで、ここにいる人々に向かって、力強く語りだすようにしたいのです。そのために聖書を「演出」しません。説教の場合は、「演出」よりも「演奏」と言う方がい

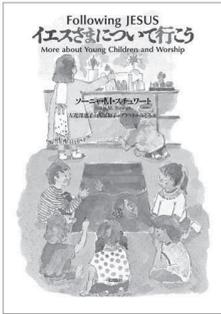
いかもありません。クラシック音楽において楽譜は絶対です。しかし、その楽譜は解釈され、演奏されて初めて生きたものとなり、聴衆の心を動かします。そのように、説教は聖書を解釈し、「演奏」して、生きた言葉として今ここにいる人の心に語りかけるのだというわけです。

このように考えれば、なるほど礼拝はいつでも演出されており、説教はいつでも演奏されていると言えます。それなら、子どもたちの礼拝や説教はどうでしょうか。礼拝であることを重んじて大人の礼拝の形に固執したり、反対に礼拝でなくなったりしていないでしょうか。子どものための言葉で説教していなかったり、説教とは呼べないお話になったりしていないでしょうか。子どものための「演出／演奏」になっていないことが多いのです。とはいえ、それに対してどうしたらよいかわからずにきました。



イエスさまについて行こう

ソーニャ・M・スチュワート
左近深恵子・西堀和子・ブラウネルのぞみ訳



モンテッソーリ・メソッドに基盤を置き、子どもたちが自分で、神さまに出会える礼拝を提供するプログラム『ちいさな子どもたちと礼拝』の続編。フィギュアや教具を用いて実演する聖書物語、その物語の中に生き、深く味わうための工夫の数々。

A4判
定価 4,180 [本体 3,800 +税] 円
ISBN978-4-86325-134-2



株式会社 一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10
TEL (011) 578-5888
<https://www.ichibaku.co.jp>
携帯 mobile.ichibaku.co.jp

そのような現実を突破して、場所のしつらえ、会衆の集まり方といった土台の部分から築き直し、子どもたちと一緒にささげる礼拝を見事に「演出」しているのが、既刊の『ちいさな子どもたちと礼拝』であり、本書『イエスさまについて行こう』です。

本書は、まず「序」として、礼拝についての考え方、準備の仕方、ヘルパーの役割、そして本書が取り上げている単元の概要を示します。理論的な部分は『ちいさな子どもたちと礼拝』の方がくわしいですが、本書を読むだけでも基本的なことをしっかりつかむことができます。

続けて、神の言葉を「演奏」するための具体的なセッショングが34例収められています。教具を用いて、主イエスの出来事が実演されます。子どもたちはその出来事に引き込ま

れ、体験することになります。

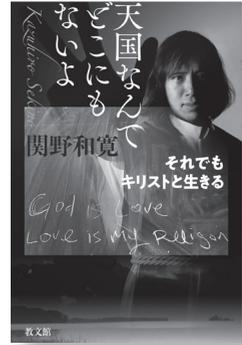
実際に読むとすぐにわかるように、余計な演出は一切ありません。聖書の言葉を深く受け取った上で、その内的な構造が把握され、実演するための形へと造形されています（わたしたちの説教の方が、なんと余分な説明や修飾や勧告を付け足してしまっていることかと反省させられます。）子どもたちは御言葉の出来事を体験した上で、問いかけに導かれて、その意味を自ら思い巡らします。

百聞は一見に如かず。まずは「子どもと礼拝の会」のホームページで実演動画をご覧ください。それを実際に行うためのすべてが本書に納められています。

(こいずみ・けん) 東京神学大学教授
A4判 二六〇頁・定価四一八〇円・一麦出版社

リアルな叫びが 心を揺さぶる

〈評者〉伊藤 悟



天国なんてどこにもないよ
それでもキリストと生きる
関野和寛著



本書はキリスト教放送局日本FEBBCにおいてラジオ放送された関野和寛牧師の「もつとイエスにぶつかる」のシリーズから一三編、それに新たな書下ろし原稿一二編を加えたメッセージ集で、本書の各ページでイエスにぶつかる関野節が爆裂している。

読み終えて、非常に後味が悪い。読者の腹を縦横無尽にえぐるからだ。説教者や牧会者にとってはそのえぐられ方はなおのこと酷い。牧師は説教のたびごとに、それは会衆に向けて語るが、いやそれ以上に自らに向けて語ることになる。自分のなかにあるどうしようもない自分が、自分の説教によって露わにされ、本当にそのように語ってよいのか、本当にそう信じて語っているのか、いったいお前自身はどうなんだ、という問いの矢が四方八方から降ってくる。本書は、リアルな私にリアルに問いかけ、牧師や信仰の原

点ともいうべきところへと私を引き摺り出していく。その意味で、後味が悪い。

牧師のごまかし、手抜き、欺瞞、本音、嗚咽、抱えている闇、不安、蓋をしてひた隠しにしてきたもの、放置してきたもの、後回しにしてきたもの……。それらを自身の経験を踏まえて赤裸々に表に出し、本気でイエスにぶつかるうとする関野牧師の勢いに圧倒される。

いくつか関野牧師の言葉を紹介しておこう。

「あやまちや弱さに満ち溢れた本当の人間、汗と涙と罪の匂いにする人間に戻れる時にこそ、はじめて魂を揺さぶるイエスのことばに出会うことができる」(三三三頁)。

「イエスのことばを遠くから傍観して聞いているだけなら楽だ。だが、そこから一歩踏み出しイエスのことばのよさに生きようとする時、そこには激しい苦しみが伴う」(八

一頁)。

「そうだ、その通りだ。自分のことを思っている。『神を愛し、隣人を愛せ』といつもひとに説きながら、愛しているのは自分自身だ。(中略) 神のことを思い、ひとに説いているようでいて、結局は自分を握りしめている」(一〇一頁)。

「これまでわたしは神に全力で抵抗し疑ってきた。(中略) けれども行き詰まるたびに、絶望するたびに、なぜかそこに十字架のイエスがいるのだ」(二〇〇頁)。

一編一編が聖書メッセージ(説教)であるが、聖書の言葉がメッセージの前ではなく後に付されているのは本書編集の特徴である。爆裂する関野牧師のメッセージに大いに揺さぶられ、「天国なんてどこにもない」という苦悩渦巻くリアルのなかに立たせられ、そして最後に聖書の言葉がぶつけられる。

また本書は、まるで「飛び出す絵本」のような経験をさせる。聖書の登場人物たち、人々の苦悩や涙、そしてイエスの言葉が、読んでいる者の目の前に次々と飛び出してく

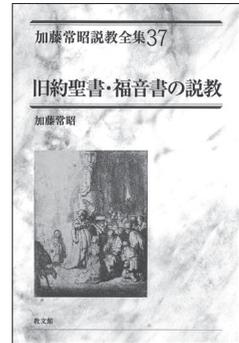
る。息遣いも聞こえてくる。「神よ! ふざけるな!」という叫びも一緒に響きわたる。と同時に、「それでもキリストと共に生きるってどういうことよ」との問いが迫ってくる。本書を通して、多くの方々はその経験をしてほしい。とりわけ、教会のこと信仰のことで行き詰まっている方々、キリスト教に懐疑的なイメージをもっている若者たち、日々福音を語る牧師、キリスト教学校の教師たちにお勧めしたい。「すべての悩み、苦しみをイエスにぶつけろ!」

関野和寛牧師は、一四年間牧会した教会を辞し、パンデミックのなかアメリカに渡り、病院チャプレンとしてコロナ病棟や精神科病棟で人々の魂に寄り添う毎日を送ってこられた。死や怒りや絶望に直面する壮絶な状況下において、「目の前の現実を前に神を疑い、神に怒り、神を見失いながら、それでも神に喰らいつき、ことばを絞り出していった」(二二二頁) 伝道者関野和寛の叫び。外では銃声とサレンが毎日鳴り響いていたという。

(いとう・さとる 青山学院大学教授)
(四六判・二一六頁・定価一六五〇円・教文館)

伝道説教の一つの モデルがここに！

〈評者〉 鷹澤 匠



加藤常昭説教全集37
旧約聖書・福音書の説教
加藤常昭著



ここに収録された説教には、実際に語られた場所があり、日付があり、そして語る人がいて、聴いた人たちがいる。その一瞬にしか語り得ない言葉で紡ぎ出された説教が、二二編収録されている。それらは、生々しいリアルな記録とも言える。

加藤常昭師の紹介はほとんどいらぬであろう。東京神学大学の実践神学の元教授であり、一九九七年まで日本基督教団鎌倉雪ノ下教会の主任牧師を務められた。隠退後、説教塾の主宰としてその指導にあたる一方、全国各地の諸教会の特別伝道礼拝や講演会の講師を務めてこられた。そして本書は、隠退後に招かれた教会でおこなわれた説教だけが収められている。最も多いのが、国分寺教会でおこなわれた説教であるが、他にも東村山教会、木更津教会、松本東教会、ホーリネス那覇教会、そして私が仕える大和キ

リスト教会などで語られた説教が収められている。

それらの説教の中で、まず注目すべきものは、伝道礼拝における説教である。どこの教会でも、伝道礼拝のために、多くの祈りと準備の時間が献げられる。種まきの苦勞である。そして、その日初めて礼拝堂に足を運んでくれた方々に、「どうか御言が届くように」と祈りを込めて、主と主が遣わしてくださった講師にすべてを託す。私も何度か、加藤師に特別伝道礼拝の説教を依頼したが、加藤師も、そのような教会の思いを充分わきまえた上で、説教を語ってくれた。その言葉は、配慮に満ち、また一人一人の魂を揺さぶる力強さを持つていた。そしてその迫力が、本書の説教からも充分伝わってくるのである。そしてそれらの説教は、既刊の説教集に収められた説教（つまり、師の現役時代に語った説教）とはまたひと味違った迫力があるのであ

る。

一方で、本書には、大胆とも言える主題に踏み込んでい
る説教も多くある。自死について、戒規について、そして
その教会の主任牧師の異動という教会の危機について語ら
れた説教も収録されているのである。特に、キリスト者の
自死に踏み込んでいる説教(二五〇頁)は、ぜひ読んで
いただきたい。主イエスの「わが神、わが神、なぜわたし
をお見捨てになったのですか」というあの言葉に深く思い
を寄せながら語られる説教は、圧巻の一言である。また、
教会そして教団がおこなう戒規について触れている説教

(一九三頁)も、読んでいただきたい説教である。現在
の教会が真剣に向き合わなければいけない課題を加藤師は
正面から取り扱う。それは、日本の教会の行く末を心から
案じて祈っている説教だとも言える。
説教は、時と場所、語る人と聴く人たち、そこに聖霊が
お働きになって起こる「神の出来事」だということを、本
書を通して、改めて思うばかりである。

(たかさわ・たくみ 大和キリスト教会牧師)
(四六判・四三〇頁・定価四一八〇円・教文館)

ついに完結!



加藤常昭 説教全集

全 37 卷

四六判・上製
(オンデマンド版は並製)

- 第Ⅰ期 福音書講解説教(全16巻)
第Ⅱ期 書簡・黙示録講解説教(全9巻)
第Ⅲ期 説教・講話(全5巻)
第Ⅳ期 若い時と隠退後の説教とFEBCでの
聖書講話(全7巻)

加藤常昭牧師が20年にわたって鎌倉雪ノ下教会で語った講解説教の集大成。2004年に刊行を始め、巻構成は、一つの巻にヨルダン社版と同じ区分の内容が入るよう配慮。また、字句・文章を見直し、新たに版を組み直した。ヨハネの手紙一および第Ⅲ期・第Ⅳ期は新収録。

教文館

〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

☎03-3561-5549 FAX 03-5250-5107



既刊案内 (2021年8月～9月)

| 編・著・訳者 | 書名 | 判型 | 頁 | 定価(税込) | 版元 | 発行日 |
|--|--|---------|-----|--------|-------------|------|
| ハロルド・サミュエル・クシュナー著 小西康夫訳 | 人生の8つの鍵 —ユダヤの知恵に聴く! | 四六 | 212 | 1,760 | ヨベル | 8/11 |
| 金子晴勇 | 東西の霊性思想—キリスト教と日本仏教との対話 | 四六 | 288 | 1,980 | ヨベル | 8/27 |
| ソーニャ・M・スチュワート著 左近深恵子、西堀和子、ブラウネルのぞみ訳 | イエスさまについて行こう | A 4 | 260 | 4,180 | 一麦出版社 | 8/11 |
| 原田浩司 | 〈スコットランド信仰告白〉 による信仰入門 —歴史・本文・講解 | A 5 | 134 | 1,760 | 一麦出版社 | 8/18 |
| 船戸良隆 | 我が国籍は天に在り —志の信仰に生きる | 四六 | 152 | 1,540 | 日本キリスト教団出版局 | 8/23 |
| 服部修 | 日々のみことば —生きる力を得るために | 四六 | 200 | 2,420 | 日本キリスト教団出版局 | 8/25 |
| 加藤常昭 | 加藤常昭説教全集37 旧約聖書・福音書の説教 | 四六 | 430 | 4,180 | 教文館 | 8/25 |
| 関野和寛 | 天国なんてどこにもないよ —それでもキリストと生きる | 四六 変 | 216 | 1,650 | 教文館 | 8/25 |
| 長谷川修一 | 遺跡が語る聖書の世界 | 四六 | 300 | 2,310 | 新教出版社 | 8/25 |
| 及川信 | ルカ福音書を読もう 下 —下に降りて見つける喜び | 四六 | 280 | 2,860 | 日本キリスト教団出版局 | 9/15 |
| 関野和寛 | ひとりて死なせはしない —日本人牧師、アメリカで コロナ患者を看取る | 四六 | 128 | 1,430 | 日本キリスト教団出版局 | 9/24 |
| 大島力監修 | 旧約聖書おもしろ クイズドリル | A 5 | 96 | 1,100 | 日本キリスト教団出版局 | 9/25 |
| M.ディベリウス著 H.コンツェルマン改訂増補 山口雅弘訳 | 牧会書簡注解 —第1・第2 テモテ書、 テトス書 | A 5 | 392 | 5,500 | 教文館 | 9/15 |
| マルティン・ルター著 金子晴勇訳 | 主はわたしの羊飼 い—詩編1編、8編、23編の講解 | 四六 | 216 | 2,970 | 教文館 | 9/22 |
| 斎藤惇夫 | 子ども、本、祈り | 四六 | 276 | 1,650 | 教文館 | 9/24 |
| 河野勇一 | 人はどこから来て、 どこへ行くのか? —《神のかたち》の人間観 | 四六 | 400 | 2,200 | ヨベル | 9/15 |
| 原口尚彰 | ローマの信徒への手紙 下巻 | A 5 | 240 | 5,060 | 新教出版社 | 9/24 |
| ジャック・エリユール著 新教出版社編集部訳 | アナキズムとキリスト教 | 四六 | 220 | 2,750 | 新教出版社 | 9/24 |
| 奥田知志 | ユダよ、帰れ—コロナの 時代に聖書を読む | 四六 | 268 | 1,980 | 新教出版社 | 9/24 |
| 竹ヶ原政輝 | 読める、わかる、 聖書のストーリー | A 5 | 288 | 2,200 | キリスト新聞社 | 9/27 |

N・T・ライト新約聖書講解 9

すべての人のためのローマ書 1 1-8章

N・T・ライト著 浅野淳博訳



Paul for Everyone
Romans Part 1
Chapters 1-8
N.T.ライト
新約聖書講解 9

すべての人のための
ローマ書 1
1-8章

N.T.ライト(原) 浅野淳博(訳)

新装

第9巻は、パウロ神学の最高傑作とも言われるローマ書。そこで彼が描こうとした「救い」「義」とは何か？ 新約聖書全体をイスラエルの回復という大きな物語として捉え、そこから現代人へのメッセージを鮮やかに説き明かす。

稀代の新約聖書学者による新約聖書全巻の講解シリーズ、ついに刊行！

● 四六判・並製・224頁・定価2,530円・7月刊行



現代の第一級の新約聖書学者にして、英国のバランズのとれた穏健な聖書解釈の伝統を受け継ぎ、教派を超えて親しまれているN・T・ライト。本シリーズは、聖書の使信を現代につながる最良の手引きであり、説教黙想、聖書研究、そして個人のデボーションにも最適。

待望のシリーズ 第二弾！



すべての人のための
マタイ福音書 1
1-15章

N.T.ライト(原) 大宮謙訳

すべての人のためのマタイ福音書 1 1-15章

N・T・ライト著 大宮謙訳

「メシア」「王」「教師」「人の子」など、多彩で豊かなイエス像を描いたマタイが伝えようとしたメッセージとは何か？ 新約聖書全体をイスラエルの回復という大きな物語として捉え、そこから現代人へのメッセージを鮮やかに説き明かす。

● 四六判・並製・336頁・定価3,080円・11月刊行

『N・T・ライト新約聖書講解』全18巻

日本語版監修 浅野淳博・遠藤勝信・中野実

- ☆1 マタイ福音書1 (1-15章)
- 2 マタイ福音書2 (16-28章)
- 3 ルカ福音書
- 4 ヨハネ福音書1 (1-10章)
- 5 ヨハネ福音書2 (11-21章)
- 6 使徒言行録1 (1-12章)
- 7 使徒言行録2 (13-28章)
- 8 ローマ書1 (1-8章)
- ☆9 ローマ書2 (9-16章)
- 10 第1コリント書
- 11 第2コリント書
- 12 ガラテヤ書、第1・第2テサロニケ書
- 13 エフェソ書、フィリピ書、コロサイ書、フィレモン書
- 14 第1・第2テモテ書、テトス書
- 15 ヘブライ書
- 16 ヤコブ書、第1・第2ペトロ書、第1・第2・第3ヨハネ書、ユダ書
- 17 ヨハネ黙示録
- 18 (☆印は既刊、1年に3冊の刊行予定)

次回は2022年『マタイ福音書2』乞うご期待！

『本のひろば』のバックナンバーをWeb上で閲覧できます。「キリスト教文書センター」のホームページから「書評誌『本のひろば』」にアクセスしてください。

<http://www.bunsyo.or.jp>

2021年2月号

| 書名 | 著・訳・監修者、出版社 | 書評者 |
|---------------------------|--------------------|-------|
| 巻頭エッセイ：身じろぎもせぬほどに | 友野富美子 | |
| 「古い」について学ぶならこの三冊！ | 工藤信夫 | |
| だから私は、神を信じる | 加藤一二三著、日本キリスト教団出版局 | 遠藤龍之介 |
| 病と信仰 | 黒鳥偉著作、日本キリスト教団出版局 | 阿久戸光晴 |
| 加藤常昭説教全集 35 新約聖書書簡の説教1 | 加藤常昭著、教文館 | 藤掛順一 |
| 今さら聞けない?? キリスト教旧約聖書編 | 勝村弘也著、教文館 | 飯謙 |
| キリスト教思想史の諸時代Ⅰ | 金子晴勇著、ヨベル | 阿部善彦 |
| 「神の王国」を求めて | 山口希生著、ヨベル | 坂野慧吉 |
| 366 日元気が出る聖書のことば | 岩本遠億著、ヨベル | 水谷潔 |
| 牧師の読み解く般若心経 | 大和昌平著、ヨベル | 島田裕巳 |
| ひとを理解する | ラリー・クラブ著、ヨベル | 岡村直樹 |
| パウロの言葉 100 選 | 河合裕志著、日本キリスト教団出版局 | 申鉉錫 |

2021年3月号

| | | |
|------------------------------------|---------------------|----------|
| 巻頭エッセイ：娘たちの心を育んだ絵本たち | 篠田真紀子 | |
| 「青年への伝道」を考えるにはこの三冊！ | 木下喜也 | |
| 平静の祈り | エリザベス・シフトン著、新教出版社 | 高橋義文 |
| 旧約聖書註解 創世記Ⅱ | J. カルヴァン著、新教出版社 | 吉田隆 |
| 教義学要綱 ハンディ版 | カール・バルト著、新教出版社 | 小原克博 |
| 世界社会の宗教的コミュニケーション | 土方透編著、聖学院大学出版会 | 佐藤啓介 |
| カルヴァンと共に祈る日々 | ドナルド K. マッキム著、一麦出版社 | 澤正幸 |
| 旧約聖書の物語解釈 | 川中仁編、リトン | 金井美彦 |
| ケノーシス | サリー・マクフェイグ著、新教出版社 | 芦名定道 |
| 日韓キリスト教関係史資料Ⅲ 1945 - 2010 | 富坂キリスト教センター編、新教出版社 | 徐正敏 |
| ケズィック・コンベンション説教集 2020 神の愛に満たされて | 大井満責任編集、ヨベル | 濱和弘 |
| 旧約聖書の世界 | 長田栄一著、ヨベル | 大井満 |
| 聖霊と靈性 | 栗田英昭著、一麦出版社 | 関川泰寛 |
| ヒロインたちの聖書ものがたり | 福嶋裕子著、ヘウレーカ | キスト岡崎さゆり |
| 宗教改革の知的な諸起源 | A.E. マクグラス著、教文館 | 森田安一 |
| 絵本へのとびら | 大嶋裕香著、教文館 | 久米小百合 |

| 書店名 | 郵便番号 | 住所 | 電話 | ファックス | URL | メール | 郵便振替 |
|-----------------|----------|------------------------|--------------|--------------|--|----------------------------------|----------------|
| 北海道キリスト教書店 | 060-0807 | 札幌市北区北七条西6丁目 | 011-737-1721 | 011-747-5979 | http://www.jp-shop.com | sasaki@jp-shop.com | 02770-2-56520 |
| 善隣館書店 | 020-0025 | 盛岡市大沢川原3-2-37 | 019-654-1216 | 共用 | | zenrikan_systen_0530@yahoo.co.jp | 02350-0-874 |
| 仙台キリスト教書店 | 980-0012 | 仙台青葉区1-36 靱帯センター・イワフ | 022-223-2736 | 共用 | | fcwkwk524@ybb.ne.jp | 02230-0-31152 |
| 恵泉書房 | 260-0021 | 千葉市中区新館2-2 千葉カリスチャペルビル | 043-238-1224 | 043-247-3072 | http://www.keisen.christian.jp | keisen@vestia.ocn.ne.jp | 00120-9-43619 |
| 教文館 | 104-0061 | 東京都中央区銀座4-5-1 | 03-3561-8448 | 03-3563-1288 | http://www.avaco.co.jp | xbooks@kyobunkwan.co.jp | 00120-2-11357 |
| アバコ・ブックセンター | 169-0051 | 東京都新宿区西早稲田2-3-18 | 03-3203-4121 | 03-3203-4186 | http://www.avaco.info | avaco@avaco.info | 00130-0-96398 |
| 待農堂 | 167-0053 | 東京都杉並区西荻南3-16-1 | 03-3333-5778 | 共用 | http://taishindo-books.jimdo.com/ | taishindo@jcom.home.ne.jp | 00110-8-95827 |
| バイブルハウス南青山 | 104-0061 | 東京都中央区銀座4-5-1 | 03-3567-1995 | 03-3567-4435 | http://biblehouse.jp | biblehouse@bible.or.jp | 00160-2-18410 |
| 横浜キリスト教書店 | 231-0063 | 横浜市中区花咲町3-96 | 045-241-3820 | 045-241-5881 | http://www.lighter.jp/~yokohamais/index.html | sksch@mva.biglobe.ne.jp | 00250-4-2512 |
| 清光書店 | 951-8114 | 新潟市営所通一番町313 | 025-229-0656 | 共用 | | | 00560-8-51419 |
| 静岡聖文舎 | 420-0866 | 静岡市葵区西草深町20-26 | 054-260-6644 | 054-260-5612 | http://www.s-seibun.co.jp/ | info@s-seibun.co.jp | 00810-8-26558 |
| 名古屋聖文舎 | 464-0850 | 名古屋市中区今池5-28-4 | 052-741-2416 | 052-733-2648 | http://nagoya-seibunsha.la.coccan.jp/ | nagoya-seibunsha@nifty.com | 00810-5-14073 |
| 京都ヨルダン社 | 602-0854 | 京都市上京区荒神口通河原町東入ル | 075-211-6675 | 075-211-2834 | http://web.kyoto-net.or.jp/people/kjordan/ | kjordan@mbox.kyoto-net.or.jp | 01010-2-594 |
| 大阪キリスト教書店 | 530-0013 | 大阪市北区茶屋町2-30 | 06-6377-6026 | 06-6377-6027 | http://osekacbs.web.fc2.com/ | ochrbook@river.ocn.ne.jp | 00990-3-43009 |
| バイブルハウスびるすの森 | 591-8041 | 堺市北区東雲東町1-1-16 | 072-257-0909 | 072-253-6132 | | sakai-ibs@bible.or.jp | 00160-2-18410 |
| 神戸キリスト教書店 | 650-0021 | 神戸市中央区三宮町3-9-18三陽ビル2F | 078-331-7569 | 078-945-9388 | | kobex@nikkihan.co.jp | 00170-2-421390 |
| 広聖聖文舎 | 730-0841 | 広島市中区舟入町12-7 | 082-208-0022 | 082-208-0177 | | hseibun0951@yahoo.co.jp | 01360-4-1958 |
| 松山キリスト教書店 | 790-0804 | 松山市中一万町1-23 | 089-921-5519 | 089-921-5413 | http://www.gojies.jp/matsuyama_1007/index.html | sksch@dokidoki.ne.jp | 01650-1-2120 |
| 北九州キリスト教ブックセンター | 802-0022 | 北九州小倉北区上富野5-2-18 | 093-967-0321 | 共用 | | kcbookcenter@bible.or.jp | 01780-4-39965 |
| 新生館 | 810-0073 | 福岡市中央区舞鶴2-7-7 | 092-712-6123 | 092-781-5484 | http://www.sinseikan.jp/ | info@sinseikan.jp | 01750-5-10932 |
| キリスト教書店ハレルヤ | 862-0971 | 熊本市大江4-20-23 | 096-372-3503 | 共用 | | k-haleruya@bible.or.jp | 00160-2-18410 |

※一般書店関係の方は 日キ販営業部 TEL 03-3260-5670 にご連絡ください。

福音と世界

2021年12月号

特集 クイア神学は何をするのか

寄稿者 堀江有里、川口弾、イム・ボラヌ長尾
有起、安田真由子、朝香知己、小林昭博

好評連載 アジアの草の根 平和の証し人 一歩、また一歩(宇井志緒利)、霊性のエコロジ(村澤真保昌)、I Say a Little Prayer 開かれる世界(栗田隆子)、福音のフラクメント(有住航)、古代イスラエル文学史序説(勝村弘也)、新約釈義 第二テモテ書(辻学) ほか

A5判・定価660円・〒70円
定期購読についてはお気軽にご相談下さい。

新教出版社 TEL: 03-3260-6148

Email: sales@shinkyo-pb.com

編集室から

先月号のこの欄でもお知らせせしたとおり、装丁家の桂川潤さんが七月に急逝されました。文字通り、今でも信じられない思いがします。

装丁家はそれぞれ独自の仕事スタイルを持っています。原稿(ゲラ)

に目を通す人もいれば、通さない人もいます。いくつも装丁案を用意する人もいれば、一つだけという人もいます。

桂川さんは「読んでいいならゲラを送ってください」と言われる方でした。読んでから装丁を考えてくださる装丁家に信頼を寄せるのは、編集者としては人情というものでしょう。もともと、ご本人は「人それぞれのスタイルがあるので、読んだからといって装丁案がいいとは限りませんよ」とにこにこしながら言われるのでした。

予告

本のひろば

2022年1月号

本・批評と紹介

(巻頭エッセイ) 大石周平、(書評) 関野和弘著『ひとりて死なせはしない』、ジャック・エリユール著『アナキズムとキリスト教』、ジョン・ポール・レドラック著『敵対から共生へ』、河野勇一著『人はどこから来て、どこへ行くのか?』、松谷好明訳『三訂版 ウェストミンスター信仰規準』、ストーミー・オマーティアン著『ひと時の黙想 全き心を求めて』他

そして、丁寧を考え抜かれた装丁案を一つだけ、用意されました。いただいた案に編集者が気楽に「ここはこうしたら……」とでも言おうものなら、なぜその部分がそうでなければならないのか、変えてしまったら全体の印象がどう変わるのかを理路整然と説明され、こちらは降参するよりなくなってしまうのです。

とはいえ、版元の事情というものをよく理解し、こちらのお願いを丁寧に汲んでくださる優しさと柔軟性をお持ちでした。自分の仕事に対する誇りと謙虚さは「職人」ということばがぴったりの方でした。

もうお仕事をお願いできないのが残念でなりません。そして、何回かだけでも一緒に仕事ができたことを、深く感謝しています。いつか感謝の会を開きたいと願いつつ、今日も新刊のゲラを読んでいます。(白田)

N・T・ライト新約聖書講解 1
すべての人のためのマタイ福音書 1
 15章



N・T・ライト 著 大宮 謙 訳

「メシア」「王」「教師」「人の子」など、多彩で豊かなイエス像を描いたマタイが伝えようとしたメッセージとは何か？ 説教黙想・聖書研究・デポジションに最適な一冊！ 聖書の使信を現代につなぐ、待望のシリーズ第二弾！

● 四六判・並製・330頁・定価3,080円

『N・T・ライト新約聖書講解』(全18巻)とは？

現代の第一級の新約聖書学者として、英国のフランスのとれた穩健な聖書解釈の伝統を受け継ぎ、教派を超えて親しまれているN・T・ライトによる新約聖書全巻の講解(The New Testament for Everyone)。

日本語版監修 浅野淳博・遠藤勝信・中野実

好評発売中！

すべての人のための**ローマ書 1** 1—8章

N・T・ライト 著 浅野淳博 訳

● 四六判・並製・224頁・定価2,530円

神を追いこさない 柳田敏洋 著

キリスト教的ヴィパツサナー瞑想のすすめ



自己中心的な自分から離れて、世界があるがままに見つめる「マインドフルネス瞑想」への誘い。「もう一人の私」に気づき、神の無償の愛(アガペ)を心に育む瞑想法を手引きする入門書。

● 四六判・並製・300頁・定価2,200円

好評発売中！

マインドフルネスとキリスト教の霊性

神のためにスペースをつくる

ティム・ステッド 著 柳田敏洋／伊藤由里 訳

悩みや迷い、モヤモヤ……割り切れない気持ちを抱えていますか？ 司祭がマインドフルネスと信仰、そして実践までやさしく解説する一冊！ 日々の生活で心を開き、瞑想するための具体的なエクササイズも収録。

● 四六判・並製・248頁・定価2,200円

プレゼントに
最適！



『こころの深呼吸』

大好評の『こころの深呼吸』と厳選した言葉と美しい写真の10枚組ポストカード集「あなたへのエール」をセットにしました。

● 本A6判・並製・390頁+ポストカード10枚セット 特別価格1,650円

本とカードの**特別セット**

片柳弘史 著 写真



新教出版社

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 / Fax: 03-3260-6198
HP : http://www.shinkyu-pb.com, email : eigyos@shinkyu-pb.com

教会政治の神学

改革派の教会政治原理とは

吉岡契典著 (よしおか・けいすけ氏は日本キリスト改革派板塾教会牧師)

教会政治はなぜ真剣な神学的考察の対象とされてこなかったのか。研究史を顧みてその偏りを批判しつつ、改革派教会の教会政治原理を探究する。【大森講座35】 ◆四六判・定価1100円

11月25日

旧約聖書 律法書

要約と概説

宮平望著 (みやひら・のぞむ氏は西南学院大学教授) 新シリーズ(全4冊) 刊行開始

創世記から申命記までの五書(律法書)の内容を要約し、そのメッセージを解説する。創見に満ちた解釈を随所に盛り込んだ、旧約を学ぶための好個の手引き。 ◆A5判・定価2200円

11月25日

ヴェーバーとフランクリン

梅津順一著 神と富と公共善 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で資本主義の精神の体現者とされたフランクリン。その事蹟を

丹念に辿り、初期資本主義の担い手となった人間像を明らかにする。それは同時に現代資本主義を克服する道の探究でもある。 ◆四六判・定価4950円



ユダよ、帰れ

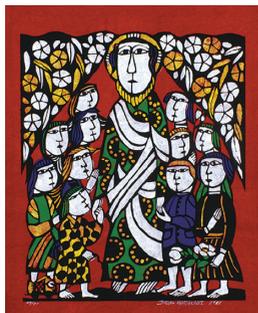
コロナの時代に聖書を読む

奥田知志著 コロナ禍で鮮明となった、人間を孤立させ、希望をくじく社会に、著者は、聖書の深い読みと長年の実践に裏付けられた洞察をもって、福音を大胆に對置する。著者の説教者としての面目躍如たる15編。 ◆四六判・定価1980円

大反響

遺跡が語る聖書の世界

長谷川修一著 (はせがわ・しゅういち氏は立教大学教授) 聖書の世界の人々はどこに名家に住み、何を着て、いかなる食生活を送っていたのか? 貨幣や暦は? 聖書考古学の第一人者が、興味尽きないテーマを平易に解説。 ◆四六判・定価2310円



2022年

渡邊禎雄版画カレンダー 発売中

プレゼントにも最適!

「子供たちを私のところに來させなさい」と語るキリストの眼差しは、小さく弱者への慈愛に満ちています。ご注文はキリスト教書店もしくは小社まで。 ◆定価 550円

一九五七年七月七日 第三種郵便物認可
二〇二二年二月一日発行 毎月一回一日発行
本のひろば 第七六八号 二〇二二年二月号

発行所 〒162-0814 東京都新宿区新小川町九-1 一般財団法人キリスト教文書センター
電話03-3336-0165(1) 振替001701511-1679
発行人 金子和人 編集人 白田浩一 印刷所 モリモト印刷株式会社
印刷所 モリモト印刷株式会社
発売所 日本キリスト教書販売株式会社 電話03-336-0167(1)

定価七八円(税抜七二円)(〒63円)
一年分三〇〇円(送料共)